

## 令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月26日

協議会名: 熊谷市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
国際十王交通株式会社	<p>運行系統名: 江南地区路線「ほたる号」 【概要】一般乗合旅客自動車運 送事業 【運行日】平成23年10月1日運 行開始。毎日運行。ただし、1 月1日から1月3日まで運休。 【運行時間帯】6:18~19:25 【運行本数】1日5.5往復 【運行ルート】江南行政センター ～熊谷駅南口～江南行政センター ～籠原駅南口～江南行政セン ター 【運行車両】ノンステップバス 1台※国庫補助金「車両減価 償却費等」あり 【運賃】(1)1回の運賃 100円 (2)1日乗車券 300円(3)回数 券(11枚綴り)1,000円(4)運賃 の免除について 未就学児、 障害者手帳(3種)所持者及び その介助・付添人1人、運転免 許自主返納者(無料乗車証か 運転経歴証明書の提示)</p>	<p>・バスマップを増刷、配布し、周 知に努めた。 ・ゆうゆうバスのルート、ダイ ヤ、バス停をGTFS(General Transit Feed Specification)形 式で整理し、Google マップに反 映した。また、オープンデータと して埼玉県オープンデータポー タルサイトに公開した。</p>	A 感染症の影響が鈍化し、令 和2、3年度と比較すると利 用者は若干回復したもの の、コロナ禍前の水準には 戻らず、燃料費の高騰が重 なったこともあり、依然とし て収支の悪化が懸念される 中、計画どおりに事業を実 施した。	B 【年間利用者数】 (R4.10.1～R5.9.30) 《目標》 24,595人 《実績》 24,810人  前年より215人増加し、目標 値の100.8%となったもの の、コロナ禍前の年間利用 者3万人に戻る気配はな い。	<p>【既実施した利用促進策】 ・「江南地区路線」の愛称、イラ ストを公募し、新規車両の納車 に合わせ、ラッピングを施工し た。 ・江南地区の地元自治会と一 緒に周知を行い、更なる利用 者の増加に努めた。</p> <p>【今後の改善点】 ・近隣を運行している路線バス も利用者が減少したままの状 態となっており、利用促進を 図ることや、路線バス等と乗り 継ぎポイントを設置するなど、 既存の公共交通を補完、連携 しながら地域の利便性を高め るなどの検討を行い、互いの 維持に努める。</p>

地方運輸局等における  
二次評価結果  
(関東運輸局)

バスマップの配布やGTFS対応・ポータルサイト公開など、利便性向上に取り組まれ、年間利用者数の目標を達成されたことを評価する。  
利用者数も回復傾向が見られるため、引き続き利用促進にかかる取組に期待したい。  
第三者評価委員会での有識者からの助言(下記)を、今後の検討の参考としていただきたい。  
・住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していただきたい。  
・定量的な目標を示し、関係者と情報を共有しながら進めていただきたい。

## 令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 6年 1月30日

協議会名: 加須市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
事業者名:朝日自動車(株)	【シャトルバスの運行】 新古河駅西口～済生会加須病院	・シャトルバスの利用促進を図るため、一定期間(R5.3.18-R5.3.25)の利用料金を無料とすることで、シャトルバスを利用しようとするきっかけづくりを行った。	A ●計画に位置付けられた事業は適切に実施された。 ・市の北部から南部までを結ぶシャトルバスの運行により、市内の鉄道間の連携及び市の一体性が図られている。 ・各フィーダー系統については、利用状況や意見等を踏まえて必要に応じ改善を図っている。	C 令和5年度の1日平均利用者は14.9人であり、新型コロナウイルス感染症の影響もあるなか、前年度の12.3人よりも増加したが、目標である30人に対する達成割合は49.7%であった。	市民ニーズや利用状況を分析の上、運行経路やバス停留所の見直しについて検証し、より利用しやすいシャトルバスの運行改善に努める。
事業者名:朝日自動車(株)、加須タクシー(株)、騎西タクシー(有)	【デマンド型乗合タクシーの運行】 加須市全域及び久喜市内栗橋駅西口	・デマンド型乗合タクシーの更なる周知のため、引き続き市ホームページ( <a href="https://www.city.kazo.lg.jp/so-shiki/seisaku_chousei/koutsuu/4889.html">https://www.city.kazo.lg.jp/so-shiki/seisaku_chousei/koutsuu/4889.html</a> )において情報掲載を行った。 ・令和5年2月からデマンド型乗合タクシーのオンライン予約を開始し、従来の電話予約に加え、アプリやウェブでの予約が可能となった。	A ●計画に位置付けられた事業は適切に実施された。 ・市全域等におけるデマンド型乗合タクシーの運行により、交通弱者の移動手段の確保や公共交通不便地域の解消が図られている。 ・各フィーダー系統については、利用状況や意見等を踏まえて必要に応じ改善を図っている。	B 令和5年9月末時点での利用登録者数は、17,670人であり、前年度の16,954人よりも増加したが、目標である18,500人に対する達成割合は95.5%であった。 令和5年度の1日平均利用者は113.2人であり、新型コロナウイルス感染症の影響もあるなか、前年度の103.5人よりも増加したが、目標である160人に対する達成割合は70.8%であった。	市民ニーズや利用状況を分析の上、運行方法等の見直しについて検証し、より利用しやすいデマンド型乗合タクシーの運行改善に努める。

地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)

シャトルバスについて、鉄道駅間の連携や一体性が図られている点は評価できるが、利用者数の目標は未達成となった。  
デマンドタクシーは、オンライン予約を開始するなど利便性向上の取組は評価できるが、登録者数・利用者数の目標は未達成となった。  
両事業共に利用者数の増加傾向が見られるため、引き続き利便性向上の取組を進めていただきたい。  
第三者評価委員会での有識者からの助言(下記)を、今後の検討の参考としていただきたい。  
・住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していただきたい。  
・定量的な目標を示し、関係者と情報を共有しながら進めていただきたい。

令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月24日

協議会名: 本庄市交通政策協議会  
 評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
朝日自動車(株)	デマンド型交通「はにぼん号」 営業区域:本庄北地域 運行日:月曜～土曜 運行時間帯:8時～17時 運賃:300円	○利用者数の目標未達成につき、路線の再編やダイヤ、運行方法の見直しの議論を行い、周辺環境や行動特性の変化などに対応すべきとの評価結果を受け、「本庄市地域公共交通計画」(令和5年3月策定)に、「デマンドバス予約システムの改善」や「デマンドバスの運行形態の見直し」等の施策事業を位置付けた。	A	C 事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった。	デマンドバスの予約システムの改善が課題であり、AIを活用したデマンドバス配車システム等の「AIオンデマンド型交通システム」を導入し、利便性向上のための改善を図る。
	デマンド型交通「はにぼん号」 営業区域:本庄南地域 運行日:月曜～土曜 運行時間帯:8時～17時 運賃:300円		A	C 目標①:利用実績値の向上(利用者数13,000人) 実績:10,561人 分析:利用者数は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う「新しい生活様式」の定着に加え、予約に関する不満が理由と考えられる。	
	デマンド型交通「はにぼん号」 営業区域:児玉市街地 運行日:月曜～土曜 運行時間帯:8時～17時 運賃:300円		A	C 目標②:利用者満足度の向上(満足:85%以上、不満足:現状より減少) 実績:満足31.3%、不満足38.4% 分析:昨年度(満足60%、不満8%)に比べ、大幅に減少している。これは、アンケート対象の変更(R4利用者、R5無作為抽出された市民3,000人)により、デマンドバスを定期的に利用しない層の意見も反映されたためと考えられる。不満の理由としては、予約に関する意見が最も多く寄せられている。	
	デマンド型交通「もといずみ号」 営業区域:児玉山間地域 運行日:月曜～土曜 運行時間帯:8時～17時 運賃:300円		A	C	

<p>本庄観光(株)</p>	<p>本庄シャトル便「はにぼんシャトル」        系統: 本庄駅南口～本庄早稲田駅北口(3km)        運行回数: 13. 5回/日        運賃: 200円</p>	<p>○利用者数の目標未達成につき、路線の再編やダイヤ、運行方法の見直しの議論を行い、周辺環境や行動特性の変化などに対応すべきとの評価結果を受け、「本庄市地域公共交通計画」(令和5年3月策定)に、「シャトルバスの時刻表の定期的な見直し」等の施策事業を位置付けた。</p> <p>○時刻表の見直し(令和4年10月1日改定)により、利便性の向上を図った。</p>	<p>A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった。</p> <p>目標①: 利用実績値の向上(利用者数16,000人)        実績: 11,392人        分析: 利用者数は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う「新しい生活様式」の定着により、目標には達していないが、昨年度に比べ、増加傾向にある。これは、時刻表の見直しの効果によると考えられる。</p> <p>C 目標②: 利用者満足度の向上(満足: 85%以上、不満足: 現状より減少)        実績: 満足34.2%、不満足35.1%        分析: 昨年度(満足35%、不満足2%)に比べ、減少している。これは、アンケート対象の変更(R4利用者、R5無作為抽出された市民3,000人)により、シャトルバスを定期的に利用しない層の意見も反映されたためと考えられる。不満の理由としては、鉄道との乗り継ぎや運行時間帯に関する意見が多く寄せられている。</p>	<p>シャトルバスの時刻表の定期的な見直しが課題であり、令和4年10月1日から、新幹線の到着時間に合わせた時刻表への見直しを行っており、利用状況を確認しながら、利便性向上のための改善を図る。</p>
----------------	---	---	-------------------------------------	---	---

<p>地方運輸局等における        二次評価結果        (関東運輸局)</p>	<p>地域公共計画を策定し、運行形態や時刻表の見直しなど利便性向上を検討する取組は評価できるが、利用者数の目標は未達成となった。今後、地域公共交通計画に基づいた更なる利便性向上に係る取組を期待したい。        第三者評価委員会での有識者からの助言(下記)を、今後の検討の参考としていただきたい。        ・住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していただきたい。        ・定量的な目標を示し、関係者と情報を共有しながら進めていただきたい。</p>
--	---

## 令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月31日

協議会名: 深谷市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
花園観光バス(株)	【R4.10.1～R5.9.30】 北部シャトル便: ①深谷駅北口-深谷警察署(西)、大寄公民館-渋沢栄一記念館 ②深谷駅北口-新井郵便局前、福寿荘前-新戒(車両減価償却費等国庫補助金申請系統)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民アンケート、公共交通利用者ヒアリング調査の実施</li> <li>・深谷市地域公共交通網形成計画の進行管理</li> <li>・深谷市コミュニティバス「くるりん」再編計画の進行管理</li> <li>・深谷市コミュニティバス「くるりん」デマンドバス再編計画の進行管理</li> </ul>	A 計画どおり事業は適切に実施された。	<b>【目標1:利用者数の増加】</b> (目標)72,074人 (実績)44,829人  <b>【目標2:利用者満足度の向上】</b> (目標)利用者アンケートで各項目とも前年度調査以上の満足度 (実績)13項目中、13項目達成  <b>【目標3:収支率の向上】</b> (目標)16.5% (実績)7.9%	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により減少した利用者数は回復が見られているが、今後も感染症対策に配慮した安心・安全なコミュニティバス運行を継続する。</p> <p>また、利用者満足度の上昇については全ての項目で前年度よりも数値が向上しており、一定の成果が出ているものと考えられる。</p> <p>今後も地域における望ましい公共交通ネットワークを示すため、安心・安全なコミュニティバス運行に努めるとともに、利用者満足度の更なる向上を目指し、適宜路線再編やサービスの改善等を実施していく。</p>
	【R4.10.1～R5.9.30】 南部デマンド			B 利用者満足度は全項目で目標を達成できた。	
深谷タクシー(有)	【R4.10.1～R5.9.30】 北部デマンド 西部デマンド		A 計画どおり事業は適切に実施された。	利用者数及び収支率は共に目標を達成することができなかったが、新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減少は回復しつつあるものと思われる。	

地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	<p>市民アンケート、公共交通利用者ヒアリング調査の実施などに取り組み、利用者満足度の目標を達成されたことを評価する。一方で、利用者数や収支率の目標は未達成となった。利用者満足度の更なる向上を目指し、適宜路線やサービス改善等の検討を進めていただきたい。</p> <p>第三者評価委員会での有識者からの助言(下記)を、今後の検討の参考としていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していただきたい。</li> <li>・定量的な目標を示し、関係者と情報を共有しながら進めていただきたい。</li> </ul>
-------------------------	--

令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月30日

協議会名: 白岡市地域公共交通確保維持改善協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
昭和タクシー有限公司	<p>【デマンド交通「のりあい交通」】                      事業者名: 昭和タクシー                      運行区域: 白岡市内及び蓮田病院                      運行日: 月曜～土曜(祝日、年末年始運休)                      運行時間帯: 8時30分～17時30分                      運行本数: 9便/日                      運行車両: セダン型車両                      運賃: 500円(障害者、小学生は300円、乗り合い利用の割引制度あり)</p>	<p>二十歳のつどい式典において、参加者へののりあい交通を紹介したチラシを配布するとともに、市公式ホームページや窓口等において通年で周知啓発を図った。                      市民ニーズに対応するため、目的地を随時追加した。</p>	<p>B                      事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった。                      新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響もあり、街頭啓発活動や出前講座による潜在的利用者に対する制度PRを実施できなかった。</p>	<p>B                      事業が計画に位置づけられた目標を達成できない点があった。                      【目標】                      ①1日当たりの利用者数45人                      ②収支率18%以上                      ③1日あたりの平均利用者数1人増                      【実績】                      ①1日当たりの利用者数43.1人                      ②収支率17.1%                      ③1日あたりの平均利用者数42人→43.1人で1.1人増となった。                      【分析】                      午後の時間が進むにつれ利用者が減少している。病院や買い物での利用が多く午前中に外出する人が多いものと考えられる。</p>	<p>午前中は利用者が多く、予約不成立となることもあり、継続的な課題の一つとなっている。現在策定中の公共交通計画を踏まえて、今後の運行のあり方を検討していく。                      また、のりあい交通の周知と利用促進を図るため、市広報紙等での案内や、イベント等でのPR活動を実施し、幅広い市民に向けた周知を行う。                      引き続き、市民ニーズを的確に把握し、目的地を追加するなど、利用者にとってより利便性の高いものにしていく。</p>

<p>地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)</p>	<p>チラシの配布場所を工夫するなど周知啓発を図った取り組み、1日あたりの平均利用者数の目標を達成されたことを評価する。1日当たりの利用者数や収支率の目標は未達成となったものの、引き続き潜在的利用者の掘り起こしや利便性向上に取り組んでいただきたい。                      第三者評価委員会での有識者からの助言(下記)を、今後の検討の参考としていただきたい。                      ・住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していただきたい。                      ・定量的な目標を示し、関係者と情報を共有しながら進めていただきたい。</p>
--------------------------------	---

## 令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年11月24日

協議会名: 鳩山町地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)	
(株)越生タクシー	<p>デマンド型交通「はとタク」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●営業区域: 鳩山町全域+町外乗降所(毛呂山町埼玉医大・坂戸市につき商業施設3箇所・北坂戸1箇所)</li> <li>●運行日: 毛呂山町埼玉医大行きは祝日及び年末年始を除く月曜～金曜、その他は祝日及び年末年始を除く毎日</li> <li>●運行時間帯: 埼玉医大行きは7時～、その他は8時～17時</li> <li>●運賃: 町内200円、坂戸市につき300円、北坂戸600円、毛呂山町埼玉医大600円</li> </ul>	<p>●「[地域]と[事業者]と[行政]の三者で役割分担を行い、地域(住民・利用者)が主体的に関与する仕組みを構築をしていただきたい」との評価結果に関しては、現在策定中の鳩山町地域公共交通計画の中に、公共交通に関する町民アンケート調査や地域状況の分析等の結果から発現した課題を踏まえ、町民、事業者、行政の協働による持続可能な公共交通の構築を基本方針として盛り込んでいく予定である。</p> <p>●「アフターコロナ、ウィズコロナを見据え、利用促進に関するイベント等を実施できるよう、行政からもバックアップしていただきたい」との評価結果を受け、新型コロナワクチンの集団接種時にデマンドタクシー「はとタク」を利用できるように、接種券の配布時に無料乗車券を同封し、地域住民の利便性向上を図った。</p>	A	<p>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>【指標】デマンドタクシー1日平均利用者数</p> <p>・実績: 80.3人(目標値: 78.5人)</p> <p>※令和4年4月以降、祝日を除く平日のみ1台運行、祝日を除く毎日3台運行</p> <p>●平日運行車両 4,185人÷245日=17.1人/日</p> <p>●毎日運行車両 21,792人÷345日=63.2人/日</p> <p>※合計17.1+63.2=80.3人/日</p>	<p>令和4年4月から新たに運行を開始した町外・土日運行について、町ホームページや広報はとやまで周知を実施した結果、町外の1日あたり乗客数が増加し、平均利用者数の引き上げにつながった。</p> <p>そこで、引き続き、土日及び町外乗降所の利用促進の広報等を行うことで、利用者増につなげる。</p>

地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	<p>昨年度の改善点であった土日運行に取り組み、平均利用者数の目標を達成されたことを評価する。ワクチン接種に乗車券を配布し、乗車の動機付けと周知を結びつけるなど利用の創出や周知について工夫されている。引き続き利用促進の取組を期待したい。</p> <p>第三者評価委員会での有識者からの助言(下記)を、今後の検討の参考としていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していただきたい。</li> <li>・定量的な目標を示し、関係者と情報を共有しながら進めていただきたい。</li> </ul>
-------------------------	--

## 令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年12月21日

協議会名: ときがわ町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
株式会社越生タクシー	おでかけワゴン 「おでかけ時間便」	稼働率30%の目標達成について評価していただき、今年度についても継続した運行が実施できていると考える。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された	A 目標稼働率30%以上に対して79.04%の稼働率があった。計画のとおりの結果となった。 また、町西部の交通空白地帯の解消ができた。	特に改善等、必要が無いと考えるが、2024年問題等運転士さんの拘束時間の問題がある。 運行を安定して継続させる事が今後の課題と考える。

地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	<p>持続的な運行に取り組まれ、稼働率の目標を達成されたことを評価する。 引き続き利便性向上や積極的な周知活動を行われることを期待する。 第三者評価委員会での有識者からの助言(下記)を、今後の検討の参考としていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していただきたい。</li> <li>・定量的な目標を示し、関係者と情報を共有しながら進めていただきたい。</li> </ul>
---------------------------------	---

令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月30日

協議会名: 小鹿野町地域公共交通協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
<p>秩父丸通タクシー株式会社</p>	<p>運行系統名: 小鹿野伊豆沢長若乗合タクシー</p> <p>本乗合タクシー運行事業は、主に小鹿野町の交通空白地域を含めた地域を運行し、西武鉄道・西武秩父駅及び秩父鉄道・秩父駅から町内へと運行している西武観光バス小鹿野線の複数の停留所と接続し、町営バスとの接続や地域内の高齢者・障害者を中心とした利便性向上を図るものである。</p>	<p>前回の評価結果では、現状の運行体制を維持し、利用促進のためのPRを行うこと及び現状で運行していない交通空白地域等にも運行エリアを拡大するなど運行体制の見直しを行うこととしていた。令和2年度に両神地区の乗降ポイントの追加や当日予約の開始ができるように変更を行い利便性を向上させ、利用者を増加することができた。また、77歳以上バス優待券申請時や広報誌への掲載、区長協議会への乗合タクシーのPRを実施した。公共交通空白地域等における運行範囲の拡大については、当地域が他市町村との連携による運行の可能性もあることや、町全域が過疎地域に指定されていて、交通空白地に償運送の活用が可能のため、人口減少等による公共交通のあり方の見直しの時期でもあることから、乗合タクシーに限らず、公共交通全体の見直しを行う中で適切な運行範囲の見極めを行うこととする。</p>	<p>A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された</p>	<p>B 事業が計画に位置づけられた目標である利用者数を達成できない点があった。</p> <p>【目標】 年間利用者数 2,800人 新規利用登録者 216人増 1日当たりの利用者数 8人/日</p> <p>【実績】 年間利用者数 2,487人 新規利用登録者 33人増 1日当たりの利用者数 8.43人/日</p> <p>【分析】 当日予約が可能になり利便性が向上や障害者や77歳以上の高齢者に対して高齢者バス優待券の発行を行なうなど利用者の増加を目指したが、新規利用登録者が増えず目標達成できなかった。目標としていた1日当たりの利用者数を達成する事ができたが、恒常的に利用する町民に支えられている部分がある。よりたくさんの人に利用してもらう為にも、継続して乗合タクシーの認知向上と利用促進の広報活動を実施する。</p>	<p>【特記事項】 従来は電話受付のみの体制だったが、予約受付にAIシステムを導入したことで利用登録者の管理や運行上の乗合ルート選定、日々の走行データの収集等、格段に業務効率が向上した。AIシステムの導入により、利用者への時間案内もより正確になった。</p> <p>【今後の課題】 予約システムはスマートフォンからの予約にも対応しているが、依然として当町は高齢者が多い事から受付は電話対応が主である。しかし高齢者に対しても昨今のDX化の恩恵を受け、より暮らしやすい日々を送っていただく事が課題でもあるため、乗合予約に限らず行政の様々なサービスをスマートフォンを介して受けられるよう、高齢者向けのスマートフォン使用講習会の開催を検討している。</p>

<p>地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)</p>	<p>当日予約対応や高齢者バス優待券などに組み入れ、(具体的項目名を挙げる)の目標を達成されたことを評価する。AIシステムを活用し、業務効率の向上と利用者の利便性向上へとつなげ、更なる需要の喚起に努めていただきたい。第三者評価委員会での有識者からの助言(下記)を、今後の検討の参考としていただきたい。 ・住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していただきたい。 ・定量的な目標を示し、関係者と情報を共有しながら進めていただきたい。</p>
--------------------------------	---

## 令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年12月26日

協議会名: 寄居町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
有限会社本間タクシー 株式会社桜交通 大信観光花園有限会社	「愛のリタクシー」 運行方式:フルデマンド型乗合タクシー 運行区域:町内全域 運行日:毎日(12/29~1/3を除く) 運行時間帯:8時~17時 料金:300円/人・回	町民の方が自由に手に取り、活用できる町内交通情報を集約した、公共交通ガイドブックの作成や利用登録申請の電子化を行った。 感染症の感染拡大で中断してしまった交通イベントは無かったが、町のイベントが徐々に再開したことに伴い、デマンドタクシーを利用していただくため、交通情報等のSNSを利用した情報発信等を積極的に行った。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B R5 (R4.10~R5.9) 事業 ○目標 ・利用者数…46人/日 ・収支率 …17.5% ○達成状況 ・利用者数 45.7人/日 ・相乗り率 56.3% ・収支率 16.0% ・収支差 22,049千円 (運行経費 26,236千円) (収益 4,187千円)	利用者数、収支率ともに目標値を達成することはできなかったが、前年度と比べると利用者数は上回り収支率は維持であった。 年間利用者数が約600人の増となり収益は回復基調にあるが、人件費や燃料費等の高騰により運行経費が増加しており、収支率はとどまっている。 利用者数増及び収支率の改善のため、制度の積極的な広報活動や利便性向上の案を検討、実施し、引き続き利用しやすい環境づくりを行い、効率的な運行を検討していく。

地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	ガイドブックの作成や利用登録の電子化、SNSを活用した周知などの取組は評価できるが、利用者数や収支率の目標は未達成となった。利用者数の増加傾向が見られるため、引き続き利用促進の取組を進めていただきたい。 第三者評価委員会での有識者からの助言(下記)を、今後の検討の参考としていただきたい。 ・住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していただきたい。 ・定量的な目標を示し、関係者と情報を共有しながら進めていただきたい。
-------------------------	--

## 令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月15日

協議会名: 毛呂山町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
株式会社越生タクシー	<p>①毛呂山町コミュニティバス(もろバス)「ゆず号1コース」 系統: 役場～鎌北湖～役場(17.5km) 運行回数: 4回/1日</p> <p>②毛呂山町コミュニティバス(もろバス)「ゆず号2コース」 系統1: 役場～もろびとの館～役場(19.5km) 系統2: 役場～もろびとの館～役場(9.9km) 運行回数: 系統1 2回/1日                   系統2 1回/1日 運賃: 100円</p>	<p>住民アンケート調査や地域状況の分析等の結果から発現した課題を踏まえ、令和3年3月に毛呂山町生活交通確保維持改善計画(改訂)を策定した。策定した計画の内容に基づき、令和3年10月からもろバスの運行見直しを実施した。</p>	<p>A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>C 事業が計画に位置づけられた目標を達成できなかった。 【目標】 ①利用者数 121人/1日 ②往復利用者割合 72% ③利用者満足度 60% 【実績】 ①利用者数 79人/1日 ②往復利用者割合 67% ③利用者満足度 41% ※1 ①は運行実績、②③はもろバス利用者アンケートより集計 【分析】 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による生活様式の変化の影響により、R2年度から利用者数の減少が続いている。また、往復利用者割合や利用者満足度も昨年度から大きな変化が無く、目標達成に至っていない。理由としては、運行頻度が少ないことによる不便さや、循環コースによる往復利用の難しさが原因であると考えられる。</p>	<p>令和4年度に実施した町民アンケートや利用者アンケート、高齢者アンケートの結果から、運行頻度に不満を持っている人が多いことがわかった。また、循環コースによる往復利用のしづらさも課題となっている。これらの課題に対応するため、運行台数の増加による各停留所から運行頻度の向上や、往復コースを中心とした運行ルートに見直すことで、利用者数の増加や往復利用・満足度の向上につなげたい。</p>

<p>地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)</p>	<p>住民アンケート等による地域状況の分析などの取組は評価できるが、利用者数や満足度の目標は未達成となった。アンケート等から把握した課題に対応する運行形態の見直しなど、利便性向上をはかり、利用者数の増加につながる取組を期待したい。第三者評価委員会での有識者からの助言(下記)を、今後の検討の参考としていただきたい。 ・住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していただきたい。 ・定量的な目標を示し、関係者と情報を共有しながら進めていただきたい。</p>
--------------------------------	--

## 令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月15日

協議会名: 幸手市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
中田商会株式会社	<p>コミュニティバス 「幸手市市内循環バス」 系統:中央コース(11.6km)、東Aコース(20.6km)、東Bコース(16.8km)、西Aコース(17km)、西Bコース(12.4km) 運行回数:(中央)8便/日(東A・東B・西A・西B)4便/日 運賃:1乗車(大人)200円 ※1日乗車券、割引運賃あり</p>	<p>「引き続き目標達成に向けての取組を」との評価を受け、増加する高齢者を中心とした市民の日常生活を支える足となる公共交通網を確保するという目的のもと、目標達成に向けて市内循環バスの利用者増を図るため、下記のとおり、継続又は新規の取組を実施した。</p> <p>①希望者へのマイ時刻表の作成 ②ナビタイムにおける市内循環バスのインターネット検索環境の提供 ③民間路線バスとの乗継円滑化を図るため、停留所相互への案内表示 ④幸手市民まつりにてバス車両の展示を実施(R4.10) ⑤1日乗車券購入者に対して、市内循環バス利用者優待制度(ハピノリ応援ショップ制度)の登録ショップで使用ができるクーポン券配布事業を実施(R4.11~R5.1) ⑥杉戸町町内巡回バスとの相互乗換の開始(R5.4~) ⑦市広報紙への記事掲載【ハピノリ応援ショップの紹介】(R5.7)</p>	<p>A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された</p>	<p>C 事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった。</p> <p>【令和5年度目標1:年間利用者数】 (目標)25,520人 (実績)25,130人</p> <p>【令和5年度目標2:利用者1人当たりの市負担額】 (目標)1,627.4円 (実績)1,657.3円</p> <p>目標には届かなかったが、前年度実績と比較すると、利用者は増加した。令和4年1月に市内循環バスの運行を開始してから市民の認知も広まり、各種取組の効果も相まって利用者数については現在も増加基調となっているため評価に値する。このまま増加基調となれば次年度は目標を達成できる見込みである。また、利用者の通院や買い物等の日常生活を支える移動手段を確保するという役割は果たすことができたと考える。</p>	<p>利用者数の増加基調の実績から、令和5年度事業で実施した周知・利用促進の取組による一定の効果があつたものと考えられる。令和6年度事業では、更なる利用促進を図るため、令和5年12月に実施した無料乗車キャンペーン等、新たな事業について取組を行っているところである。</p> <p>ハピノリ応援ショップ事業への協力店舗の拡充も含め、引き続き利用促進につながる事業を多角的に検討・実施していきたい。</p> <p>また、市内循環バスを、より生活に身近な公共交通としていくためにも、周知・利用促進の実施に加え、アンケート等で市民ニーズの把握にも努めていきたい。</p>
地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	<p>マイ時刻表の作成や、インターネット検索環境の提供による利便性向上、ハピノリ応援ショップ制度などの取組は評価できるが、利用者数及び市の負担額の目標は未達成となった。利用者数は増加基調であり、更なる周知・利用促進の取組を期待したい。第三者評価委員会での有識者からの助言(下記)を、今後の検討の参考としていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していただきたい。</li> <li>・定量的な目標を示し、関係者と情報を共有しながら進めていただきたい。</li> </ul>				

## 令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年12月25日

協議会名: 上里町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
株式会社協同バス	中央ルート 北部ルート 南部ルート	<p>・利用者アンケート調査、利用者OD調査については、実施した。</p> <p>・高齢者へのコミュニティバスの利用促進支援事業として実施している高齢者無料バスについては、交付対象者要件の変更により、発行件数が大きく伸び、利用者の増加に繋がった。また、例年1回開催している交通安全講習会を3回開催し、高齢者の交通安全を啓発するとともに、バスの利用案内を積極的に実施した。</p> <p>・駅を中心とした、まちづくりと連携し、「コンパクト・プラス・ネットワーク」の実現に向け、次期公共交通の運行形態についても検討していくため、住民を対象としたワークショップを開催した。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B <p>事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった。</p> <p>【目標】 ①年間利用者数 20,550人 ②高齢者無料バスの発行件数 102件</p> <p>【実績】 ①年間利用者数 17,714人 ②高齢者無料バスの発行件数 262件</p> <p>【分析】 利用者数は目標値の達成に至らなかったが、昨年(14,489人)よりも約2割増加し、新型コロナウイルス感染症拡大以前の利用者数より多かった。高齢者無料バスについては、令和4年9月に対象年齢の引き下げに伴い発行件数が大きく伸びた。</p>	<p>・高齢者無料バス交付者数の増加に伴い、高齢者のバス利用者が一層増加するよう、利用者ニーズに対応した「わたしの時刻表」の活用を周知し、バス利用を積極的に促していく。</p> <p>・駅を中心とした、まちづくりと連携し、「コンパクト・プラス・ネットワーク」の実現に向け、新たな地域公共交通計画の策定(令和7年3月策定予定)を進めるとともに、次期公共交通の運行形態についても準備を進めていく。</p>

地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	<p>高齢者無料バス発行の取組や住民ワークショップ開催について取り組まれ、高齢者無料バスの発行件数の目標達成されたことを評価する。一方、年間利用者数の目標は未達成となったが、利用者数は増加傾向であり、更なる利用促進を積極的に進めていただきたい。</p> <p>第三者評価委員会での有識者からの助言(下記)を、今後の検討の参考としていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していただきたい。</li> <li>・定量的な目標を示し、関係者と情報を共有しながら進めていただきたい。</li> </ul>
-------------------------	--

## 令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 6年 1月 30日

協議会名: 飯能市地域公共交通対策協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
西武ハイヤー株式会社	飯能市乗合ワゴン「おでかけむーま号」(精明・加治地区) 系統:3系統(精明東系統・精明西系統・加治系統) 運行日:月・水・金 運賃:一律200円 車両:10人乗りワゴン(定員9人)	・運行上の安全性及び定時性の確保のための経路変更を実施した。 ・運行情報をオープンデータ化し、インターネット検索が可能となった。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 目標① 1便当たり平均利用者数(全系統合計) 目標値 5人以上 実績値 4.15人【未達】  目標② 収支率(経常経費に対する経常収入の割合) 目標値 20%以上 実績値 15.77%【未達】  ▶利便性向上による利用者の増加、運行収入以外の収入源の確保を目指す。	・より利便性の高い経路の検討 ・運行収入以外の収入源確保 ・キャッシュレス決済の導入
国際興業株式会社	飯能市乗合ワゴン「おでかけむーま号」(原市場地区) 系統:3系統(①飯能駅系統・②原市場地区行政センター系統・③新寺系統) 運行日: ①③毎日、②月・水・金 運賃: ①対キロ運賃、②一律300円、③一律100円 車両: ①大型バス、②③14人乗りワゴン(定員12人)	-	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 目標 1便当たりの利用者数 目標値 1.5人以上(往復3人以上) 実績値 3.48人【達成】  ▶目標値の見直しを検討する。	・運行情報のオープンデータ化 ・運行収入以外の収入源確保
	飯能市乗合ワゴン「おでかけむーま号」(南高麗地区) 系統:2系統(①小学校系統・②南高麗地区行政センター系統) 運行日:①月～金、②月・水・金 運賃:一律300円 車両:14人乗りワゴン(定員12人)	-	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 目標 1便当たりの利用者数 目標値 1.5人以上(往復3人以上) 実績値 2.61人【達成】  ▶目標値の見直しを検討する。	・運行情報のオープンデータ化 ・運行収入以外の収入源確保
地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	(精明・加治地区)実態に即した運行経路の変更や運行情報のオープンデータ化は評価できるが、利用者数及び収支率の目標は未達成となった。(原市場・南高麗地区)今年度、サービス継続実施計画を策定し、積極的に公共交通の確保維持に努めた点は評価できる。引き続き、利便性向上を図り、地域に必要な公共交通の維持・活性化に努められることを期待する。また、第三者評価委員会での有識者からの助言(下記)を、今後の検討の参考としていただきたい。 ・住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していただきたい。 ・定量的な目標を示し、関係者と情報を共有しながら進めていただきたい。				